

2022県展 審査結果について

2022県展実行委員会

1 応募数及び入選数一覧

部門	応募点数			入選点数		左のうち入賞点数							
	2022 応募点数	2021年比 増減数	全体に占め る割合(%)	2022県展	%	特席	一席	二席	三席	四席	佳作	奨励賞	入賞数
絵画	180	△ 32	35.1	71	39.4		(該当なし)	1	1	1	4	1	8
彫刻・立体	20	4	3.9	10	50		1	1	1	1	2	1	7
工芸	29	△ 5	5.7	10	34.5	1※	1	1	1	1	3	1	8
書	65	2	12.7	26	40		1	1	1	1	5	1	10
写真	199	25	38.9	78	39.2		1	1	1	1	5	1	10
デザイン	19	△ 4	3.7	7	36.8		(該当なし)	1	1	1	1	1	5
計	512	△ 10	100	202	39.5	1	4	6	6	6	20	6	48

※特席(県展大賞)は各部門の一席(部門大賞)から1点を選出する

特席 県展大賞 副賞50万円
 一席 部門大賞(知事賞) 副賞10万円
 二席 兵庫県立美術館賞 副賞7万円
 三席 神戸新聞社賞 副賞記念品
 四席 (財)兵庫県芸術文化協会賞 副賞記念品
 佳作 副賞記念品
 奨励賞 (公財)伊藤文化財団賞 副賞5万円及び記念品
 特別賞 県民賞(来場者の投票による) 副賞記念品

※特席(県展大賞)及び特別賞(県民賞)は全部門を通じて各1名、奨励賞((公財)伊藤文化財団賞)は各部門1名

※県展大賞の副賞50万円については、部門大賞の10万円を含む

2 年齢別応募者数一覧

部門	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	不明	計
絵画	5	9	10	6	13	137	0	180
彫刻・立体	1	2	1	0	0	16	0	20
工芸	0	3	1	6	3	16	0	29
書	14	13	3	5	11	19	0	65
写真	8	3	0	5	10	173	0	199
デザイン	0	2	3	2	4	8	0	19
計	28	32	18	24	41	369	0	512
%	5.5	6.3	3.5	4.7	8	72.1	0	100

3 地域別応募者数一覧

部門	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	その他	計
絵画	74	26	13	16	14	16	7	0	5	4	5	180
彫刻・立体	7	3	1	3	2	1	0	0	1	1	1	20
工芸	7	6	2	3	2	3	2	1	0	0	3	29
書	12	7	3	6	3	18	9	0	1	4	2	65
写真	91	21	18	13	30	6	9	0	8	3	0	199
デザイン	10	4	4	0	0	0	1	0	0	0	0	19
計	201	67	41	41	51	44	28	1	15	12	11	512
%	39.3	13.1	8	8	10	8.6	5.5	0.2	2.9	2.3	2.1	100

絵画部門(応募数180、入選数71) ※一席 該当なし

賞	題名	氏名	居住地
二席 兵庫県立美術館賞	氷瀑の有馬七曲りの滝	三方 斌彦	加古川市
三席 神戸新聞社賞	mapー三日月がかかる街	門脇 済美	神戸市垂水区
四席 (公財)兵庫県芸術文化協会賞	遡上	波賀野 文子	西宮市
佳作	さあさあ どうぞ！	原 清	神戸市西区
佳作	木と木の間に	船越 和子	神戸市北区
佳作	私があなたを知ること(Masked/The way I know something)	竹田 恵子	神戸市灘区
佳作	まどろみ	吉川 弥音	京都府京都市
奨励賞 (公財)伊藤文化財団賞	主イエスのためのfugue	藤本 隆正	西脇市
入選	Nostalgia	渋谷 健	加古川市
入選	目1	山崎 由香子	神戸市西区
入選	変わらぬ春の情景	石田 秀輝	丹波市
入選	ワラッテ・ワラッテ	澤田 浩二	加古川市
入選	優雅に	田中 明美	洲本市
入選	追憶	岩門 継雄	姫路市
入選	感染爆発	原 敏彦	姫路市
入選	資材置場Ⅱ	祐保 明美	佐用町
入選	菩提	丸尾 邦典	姫路市
入選	晴れの日	川北 俊治	神戸市中央区
入選	奄美の碧	阿部 道子	姫路市
入選	赤い夕暮れ	立野 稔夫	神戸市中央区
入選	森の生	芋玉 紀夫	姫路市
入選	戦争と平和	藤村 温子	姫路市
入選	Altamira Gate	柳崎 茂	神戸市中央区
入選	地下街	奥村 誠	西宮市
入選	時の記憶Ⅳ	李 銀京	姫路市
入選	丘の上のカテドラーレ	池田 瑞子	神戸市灘区
入選	夜の流れ	若林 いぶき	神戸市東灘区
入選	太古への想い	川東 雅子	西宮市
入選	沖縄エイサー	山 秀樹	神戸市灘区
入選	生命の森	板谷 明美	加東市
入選	想う	宇高 良彦	多可町
入選	映ろう/移ろう	榎原 健一	西宮市
入選	好日	由良 郁子	神戸市東灘区
入選	再会	林 瑠美	丹波篠山市
入選	my inner world	竹本 裕子	太子町
入選	夏の松獣	石宮 千佐登	芦屋市
入選	播磨灘	富士谷 淳	たつの市
入選	夢現	坪井 佳奈	高砂市
入選	帰省	桃尾 良継	神戸市西区
入選	おかえり	望月 高明	伊丹市
入選	Equus(射的)	五十嵐 佳容	芦屋市
入選	細工の宮	堀 敏文	姫路市
入選	今日も暑いかしら	久保 公乃	神戸市西区
入選	家族になる	藤尾 清宣	明石市
入選	六甲の秋	玉置 玲子	西宮市
入選	平和の壊れる日	大西 隆弘	播磨町
入選	心影ーshineiー	相良 みつよ	神戸市須磨区
入選	秋の音	佐藤 二美	伊丹市
入選	水鏡	和田 明美	西宮市
入選	刻	木庭 隆子	神戸市西区
入選	撩乱	塩見 秀	加西市
入選	笑み染まりて	橋爪 美千代	加西市
入選	人とひとの間にあるもの	片山 保幸	洲本市
入選	漁の一休み	平井 鈴代	神戸市垂水区
入選	四条河原町	稲吉 夏子	西宮市
入選	夢の淵で待ってる	浅田 祐加	神戸市西区
入選	沈黙とざわめき	岡野 壮男	高砂市
入選	町角で	栗生 芳子	神戸市須磨区
入選	黙示録	田中 希久代	神戸市垂水区
入選	安らぎからの創出	岩佐 盾香	尼崎市
入選	ブーゲンビリア 咲く	日崎 隆広	鹿児島県指宿市
入選	葡萄実る頃	上山 昌代	姫路市
入選	Silence	裾沢 佳代	神戸市東灘区
入選	六合八十川礼賛図	小南 智美	神戸市北区
入選	守護神	竹原 佑爾	西宮市

絵画部門(応募数180、入選数71) ※一席 該当なし

賞	題名	氏名	居住地
入選	家族で合奏	田中 耕治	丹波篠山市
入選	scene 17:47	笹本 しずか	三木市
入選	Memories of blue	吉川 恵里	神戸市北区
入選	空気をまとふ	ワシオ サエコ	赤穂市
入選	あ——！	浦 覚水	岡山県岡山市
入選	女性達の湖 放生の船出	小谷 晴一郎	西宮市

彫刻・立体部門(応募数20、入選数10)

賞	題名	氏名	居住地
一席 部門大賞(知事賞)	彼、または彼女、あるいは私	円山 葉多	淡路市
二席 兵庫県立美術館賞	飛ぶ刻ーTobuTokiー	相良 みつよ	神戸市須磨区
三席 神戸新聞社賞	Bag-bag	門脇 済美	神戸市垂水区
四席 (公財)兵庫県芸術文化協会賞	ただよえる	藤本 尚隆	西脇市
佳作	fly house	高谷 敏正	加古川市
佳作	ファンタジーワールド	竹中 恭子	西宮市
奨励賞 (公財)伊藤文化財団賞	柔く硬い現像	木村 歩	京都府京都市
入選	うふふ	石垣 祐三	高砂市
入選	命どろ宝(命こそ宝)[ルビ:ヌチドゥ タカラ(いのち たから)]	坂本 達雄	西宮市
入選	あおうみがめのゆめ	神崎 日菜	神戸市須磨区

工芸部門(応募数29、入選数10)

賞	題名	氏名	居住地
特席 県展大賞、一席 部門大賞(知事賞)	Coral bleaching	丹生 あさ	京都府京都市
二席 兵庫県立美術館賞	果物のお腹(練り込み)	中村 可南子	神戸市須磨区
三席 神戸新聞社賞	音玉	越智 圭太郎	姫路市
四席 (公財)兵庫県芸術文化協会賞	丹波布手織草木染帯裂	田中 萬里子	高砂市
佳作	凧	佐々木 稔子	神戸市垂水区
佳作	念珠入器	河野 好文	西脇市
佳作	〈釉下彩磁〉猫's	十川 加代子	西宮市
奨励賞 (公財)伊藤文化財団賞	ヨタカ	三島 寛也	大阪府太子町
入選	花嫁のかどで	わたべ みちこ	たつの市
入選	Revolve rho	山本 諭	播磨町

書部門(応募数65、入選数26)

賞	題名	氏名	居住地
一席 部門大賞(知事賞)	十竹	池本 竹風	上郡町
二席 兵庫県立美術館賞	風立てば	向井 百合子	明石市
三席 神戸新聞社賞	クニヤブレテサンガアリ	橋本 安希子	大阪府吹田市
四席 (公財)兵庫県芸術文化協会賞	蔡毅中詩	中園 丁景	神戸市兵庫区
佳作	明詩	浦 里江	神戸市中央区
佳作	POSE	船江 千恵子	大阪府大阪市
佳作	峨眉山月歌	佃 清峰	西脇市
佳作	人麻呂の歌	杉山 昌子	神戸市須磨区
佳作	青谿書院偶題	山口 松蔭	西宮市
奨励賞 (公財)伊藤文化財団賞	ABC...	増田 奈々子	尼崎市
入選	酬陳孟敷見寄	中島 葉舟	神戸市中央区
入選	放囀	梶川 宏樹	神戸市須磨区
入選	高明の詩	廣津 甲仙	神戸市東灘区
入選	明詩	小川 千穂	姫路市
入選	杜甫詩	小山 陽菜	姫路市
入選	杜甫詩	巽 翠連	姫路市
入選	草枕	松井 淳史	神戸市北区
入選	露草の花	西川 純子	西脇市
入選	櫛柄在手	尾崎 史郎	赤穂市
入選	于若瀛詩	吉田 早葉	洲本市
入選	陸龜蒙詩	坪谷 玖沙	淡路市
入選	白居易詩	金津 一敬	淡路市
入選	無題	宮本 華逕	相生市
入選	紅樓院應制	小谷 荷香	上郡町
入選	夏	荻岐 翠苑	三田市
入選	我が宿	真鍋 良子	多可町

写真部門(応募数199、入選数78)

賞	題名	氏名	居住地
一席 部門大賞(知事賞)	京の赤	谷 登志朗	姫路市
二席 兵庫県立美術館賞	その先に?	木原 道也	神戸市北区
三席 神戸新聞社賞	猿田彦命の先導	深町 育三郎	加古川市
四席 (公財)兵庫県芸術文化協会賞	ねぐら	石田 泰彦	小野市
佳作	ラベンダーに寄す	鈴木 博	神戸市須磨区
佳作	手に余韻	加藤 昭代	三田市
佳作	輝きを浴びて	中野 定子	神戸市垂水区
佳作	最果て	赤松 昌哉	神戸市中央区
佳作	棚田の田植	福西 清春	丹波篠山市
奨励賞 (公財)伊藤文化財団賞	狂乱なる独唱	中村 奏輝	芦屋市
入選	縄張り	三宅 美佐子	神戸市垂水区
入選	視線	桑田 尚子	三木市
入選	罨	石田 弘之	加東市
入選	寒修行	松場 鋼一	丹波市
入選	世間話	岡本 美知子	三木市
入選	影猿	清水 和義	三田市
入選	新世界	横山 敬司	神戸市垂水区
入選	終焉	明石 けい子	神戸市北区
入選	キッズワールド	吉田 清子	神戸市西区
入選	未来へ	塔筋 幸造	神戸市兵庫区
入選	藎	山木 芳久	神戸市北区
入選	マスクマン	遠藤 堅衛	神戸市須磨区
入選	ファッション都市	中垣 芳樹	神戸市須磨区
入選	冬の凜然は宝なり	寺尾 昭男	多可町
入選	水上探検隊	仙崎 幸子	神戸市中央区
入選	柴燈大護摩供	村上 光臣	西脇市
入選	異界へ	永田 誠吾	洲本市
入選	仮面	小林 恭子	神戸市東灘区
入選	潮風の通る街	庄野 洋子	神戸市須磨区
入選	冬の使者ユリカモメ飛来	柏木 正	神戸市西区
入選	末枯れ染める	阿江 邦夫	西脇市
入選	生きる・・・海に、山に、	園田 泰弘	西脇市
入選	時空の旅人	高田 恭子	稲美町
入選	ファッション	細谷 昭二郎	丹波市
入選	森に遊ぶ	都倉 重忠	加古川市
入選	満点の星	高橋 三吉	加古川市
入選	The blue world	石場 史子	神戸市北区
入選	氷華 魅惑の旋律	尾崎 郁也	明石市
入選	眼光	荻野 裕	丹波市
入選	春の舞	吉田 昭宣	三木市
入選	冬ざれ	田邊 美智子	宝塚市
入選	中崎町界限	尾崎 壽	市川町
入選	想いをのせて	高橋 文代	神戸市中央区
入選	消えた町	野田 和家	太子町
入選	漁業実習生	馬場 和正	三田市
入選	古墳のある風景	北川 喜則	神戸市垂水区
入選	輪になってあそぼ	藤原 雅弘	神戸市北区
入選	震災28年目	南 秀人	神戸市灘区
入選	Hope	塚本 尚子	神戸市須磨区
入選	隠	辻本 幸代	神戸市垂水区
入選	ヨイヤサ!	荒木 透	西宮市
入選	氷の仮面	平野 昭夫	西宮市
入選	夕立ごっこ	薬師 鉄也	淡路市
入選	護摩焚きの日	松本 義明	丹波市
入選	高架下のアート	岡田 茂	神戸市北区
入選	桜心	谷垣 英彦	丹波篠山市
入選	一隅	小林 昌子	小野市
入選	孤高	大前 保夫	丹波市
入選	限界集落	別所 孝司	姫路市
入選	親子の愛情	松重 寿機	西宮市
入選	混沌光	フォーサイス 啓予	神戸市東灘区
入選	恵路	谷 和代	姫路市
入選	希望の灯リー平和を祈る	上田 純子	神戸市垂水区
入選	錦秋の候	池町 敏彦	三木市
入選	語らい	川端 昭延	三木市

写真部門(応募数199、入選数78)

賞	題名	氏名	居住地
入選	竹ぼうきを作る男	澤 勝弘	神戸市垂水区
入選	虚実の転変	新宅 健	神戸市西区
入選	ムムムッ	浜名 俊宏	西宮市
入選	悲愴	辻森 寿美	西宮市
入選	廃屋	山口 政子	たつの市
入選	家路へ	木内 良之	神戸市中央区
入選	栄枯盛衰	富永 雅久	赤穂市
入選	耕作断念	新宅 郁夫	丹波市
入選	里山に散る花筏	芹生 茂樹	加東市
入選	クライマックス	仁平 憲雄	神戸市東灘区
入選	Holiday May 2022	なかにし 宏明	伊丹市
入選	初夏の雫	向井 章二	神戸市灘区
入選	菩提心	荒木 郁子	神戸市北区

デザイン部門(応募数19、入選数7) ※一席 該当なし

賞	題名	氏名	居住地
二席 兵庫県立美術館賞	シェイクスピア/ハムレット	早川 博唯	伊丹市
三席 神戸新聞社賞	おへそ物語	風呂本 和彦	神戸市灘区
四席 (公財)兵庫県芸術文化協会賞	川狩り	近藤 輝久子	西宮市
佳作	こころ	はにおか ひさこ	神戸市北区
奨励賞 (公財)伊藤文化財団賞	SCHEMA	水間 離子	神戸市兵庫区
入選	モアイの音楽隊	石田 貢	川西市
入選	DIFFER	北川 大佐	西宮市

2022 県展 講評

絵画部門

【総評】

個性豊かでパワフルな作品が多いところに共感が持てた。考えていることがダイレクトに伝わる作品も多い。ただし、画面の始末や額装など仕上げの詰めの甘い作品や、見せ方に頓着しない作品も見受けられたのが残念だった。これは、本年一席なしとした理由でもある。

【一席 部門大賞（知事賞）】

該当なし

【二席 兵庫県立美術館賞】

特別な色を使っていないのに画面がキラキラして見え、色使いのうまさを感じさせる作品。色と線の組み合わせも巧みで、スケール感や奥行き感もよく出ている。黒い色の部分の曖昧さがいろいろな意味を孕んでいるようであり、同時に世界が広がる自由さがある点も魅力。

【三席 神戸新聞社賞】

単純な線の集積のみで作品ができているが、よく見るといろいろな絵が重ねられていて生き物の気配もある。規則性も感じられ、そこに見え隠れする面白さが、二席の作品と好対照だ。文字と絵が一体化して面白味が出ている。

【四席 （公財）兵庫県芸術文化協会賞】

オオサンショウウオというモチーフがユニークだ。これが予想外の現れ方をされていて、それがモノトーンの色彩と対比されて面白い。また、悠久の時を生きている生物だととらえると、メッセージ性が感じられる。

【奨励賞 （公財）伊藤文化財団賞】

鉛筆というシンプルな画材を生かして描く強さが目に留まった。鉛筆と色の組み合わせが大胆で面白い。細部もよく描けていて、構図の破綻もない。全体として訴求力がある。

彫刻・立体部門

【総評】

今年の作品はどれも充実しており、作品の方向性や世界観を確固と持ち完成まで丹念に仕上げられているものばかりだった。完成度の差はあれども、作家それぞれが作品に向き合っ
て制作した熱量が感じられた。傾向としては、陶の作品やインスタレーションの出品が多か
った。今後はよりダイナミックで大きな作品なども出品されることを期待したい。

【一席 部門大賞（知事賞）】

作品名に表現されている抽象的なコンセプトと、陶という計画的な表現方法が見事に合致
し引き込まれるような魅力を生み出している。彫刻に真摯に向き合い制作された作品であ
り、大賞にふさわしい。身体部分をより揺らぎのある造形にすれば、彫刻全体の生命感が増
したか。

【二席 兵庫県立美術館賞】

無機的にも有機的にも見えるような立体のフォルムとその表面の表現が卓抜している。作
家が試行錯誤しながら作品の形を定めていった制作過程が想像できる。下部分の敷物がな
い方が立体の迫力が際立っていただろう。

【三席 神戸新聞社賞】

センスと上手さを感じさせる。紙バッグなどの日常的な素材を巧みに用いた、洗練された表
現だ。神戸らしいおしゃれさがある。オブジェの数が少し多い印象。

【四席 （公財）兵庫県芸術文化協会賞】

表現したいという気持ちが素直に溢れ、エネルギーに満ちている。2つある顔や3本ある脚
や手などの造形の意味をより深めていってほしい。

【奨励賞 （公財）伊藤文化財団賞】

原型としての石と石膏による形と、そこから型をとって焼いた陶製の形を組み合わせるこ
とで、様々な対立項を鑑賞者に考えさせる。同様の手法を用いている先例の焼き直しになら
ないよう、一層のオリジナリティの追及が期待される。

工芸部門

【総評】

作品ごとの差が少なく、全体的にレベルが上がっていた。陶芸や染織といった工芸の従来の領域を超えた発想の作品が多く、神戸らしい開放感を感じさせた。兵庫県の地場産業の染織や陶芸の作品は少ないように見受けられた。今後は兵庫独自の工芸作品や若い人の出品が増えることを期待する。

【一席 部門大賞（知事賞）】

染織の領域に属するが、様々な手法を駆使した自由で力強い造形からは、若い作家の挑戦と意欲が感じられる。既存のセーターを解きほぐし再構成した手法は、昨今の言い方でいえば「サステナブル」なものといえ、現代的な意味ももっている。

【二席 兵庫県立美術館賞】

練り込みという技法で 6 つの陶器を仕上げる技術力の高さと、フルーツの断面という日常的なモチーフの選択に魅力がある。具象的な果物という主題を抽象的なパターンに落とし込んでおり、かわいらしさと面白さが生まれている。

【三席 神戸新聞社賞】

作品を振ると音が出るという表現は、工芸とは本来手で触って鑑賞するものだという基本的なことを思い出させる。多面体を正確につくる技術力に裏打ちされた、綺麗な音が鳴るという意外性が面白い。

【四席 （公財）兵庫県芸術文化協会】

誠実に丁寧に織られ、技術的な確かさに信頼がもてる。帯だけではなくシャツにして着てみたいと思うような明るく魅力的な織り。

【奨励賞 （公財）伊藤文化財団賞】

鑑賞者が自由に解釈できる大胆なフォルムと、模様や目玉のようなくりぬきといった表面の造形の繊細な部分が両立した意欲溢れる作品。

写真部門

【総評】

出品数が増えたのは喜ばしいが、表現のバリエーションが豊富とまではいかない。コロナ禍の行動制限の影響かと思う。それでも日常生活のひだに分け入って、なんとか作品を作ろうと苦勞されている様子が、出品作品全体から感じられる点は好ましい。組作品は相変わらず多いが、複数イメージが本当に必要かを感じる作品があったので、今一度、1枚で強いイメージを追求してもよいだろう。

【一席 部門大賞（知事賞）】

組写真だが各枚が強く、組合せの完成度も高い。お稲荷さんのマスクに時節柄が、そしてマスクが手造りであるところに人のぬくもりのようなものが感じられる点もよい。湿っぽい神社の一角で、思わず原色に出会った感動がダイレクトに伝わってくる。

【二席 兵庫県立美術館賞】

散歩の風景を何気なく切り取って、光と影を表現している。現実にある被写体を四角いフレームに入れるセンスがよいが、普段から問題意識をもって、対象に向かっていないとうはできないものである。

【三席 神戸新聞社賞】

スナップショット的な作品が少ないなかで目立っていた。中央の少年とその表情が何より目を引くが、左右の人物や神輿で下半身しか見えない人の動きもよい。躍動感があり、愛すべき作品である。

【四席 （公財）兵庫県芸術文化財団賞】

自然物を扱った作品もそう多くなかったが、その中で際立っていた。逆光を利用し絵画的な情景と時間をねらった作品だが、写真的なリアリティはある。シンメトリーの構図もきまっでいて、何より背景のグラデーションが美しい。

【奨励賞 （公財）伊藤文化財団賞】

かなり若い方の作品で、審査員一同、今後も写真続けてほしいとの思いから奨励賞とした。金網の破れた部分がハイライトになっており、その向こうに新しい世界が開けているというフレッシュな作品ととらえた。

書部門

【総評】

高齢化が進む社会だが、県展に高校生・大学生の出品が多いことは頼もしい。入賞した作品は、既定の紙の大きさに制限がある中で表現にさまざまな工夫が見られた。篆刻作品の出品がもっと増えることを期待したい。

【一席 部門大賞（知事賞）】

中国の古代、青銅器に鑄込まれた金文という漢字の書体を用いた作品。文字の大きさをうまく活用し、行と行がうまくかみ合っている。文字の線質がよく、章法（全体の構成）も成功しており、全体の雰囲気の良い作品に仕上がっている。

【二席 兵庫県立美術館賞】

よどみなく連綿と流れるように書かれた仮名作品。線質が強く、文字の動きの中に静けさがある。全体にバランスが取れており、まとまり良く落ち着いたところに、ベテランの味を感じる。

【三席 神戸新聞社賞】

通常の書作品とは異なる材料を用いた前衛作品。にじまない紙に特殊な墨を用いて、素材感の変化を楽しむことのできる発想豊かな面白い作品である。左の大きな塊の陰影、右のシャープな線の対比が明瞭となっている。紙面の白の分量も適切で、緊張感を醸し出している。

【四席 （公財）兵庫県芸術文化協会賞】

中国の明時代・清時代の行書を参考にした作品。文字の大小・行間の白さが美しい作品に仕上がっている。文字と文字が切れ目なくよどみのない、リズムが良い熟練された作品ということができる。

【奨励賞 （公財）伊藤文化財団賞】

筆の勢いがあり、全体の動きが堂に入っている前衛作品。左から右への動きが自然でバランスよく、空間の処理がうまくいっている。墨の飛沫も紙面の白に響いて効果的である。

デザイン部門

【総評】

幅広い年齢層から応募があったのは良いが、応募総数は昨年よりも減ったのは残念である。コンセプト、構成力、表現力のすべてを満たす作品がなかったため、昨年に続き今年も大賞の選定は見送った。また、デザインというよりも絵画部門に応募すべき作品が散見された。今後は、出品数全体の増加と、より多くの若手からの募集を期待したい。また県展の主催者には、そのための応募しやすい環境づくりの工夫を求める。

【一席 部門大賞（知事賞）】

該当なし

【二席 兵庫県立美術館賞】

コンピューターを用いて描かれたシェイクスピア劇の広報ポスターと思われる。シンメトリーを基礎にした構図、巧みな遠近法処理、味のある手書き風の線など、描画技術やデザインとしての完成度の高さは一頭地を抜く。劇のどの場面であるかは判然としないが、イラストレーションとしてもレベルが高い。

【三席 神戸新聞社賞】

持てる技術と時間を投入して作られた力作。見る者にストーリーへの興味を持たせるが、全体的な構成力が少し不足しているため、インスピレーションを強く刺激するには至っていない。モチーフの大きさ、文字の書体などデザインの基礎的要素を吟味してほしい。

【四席 （公財）兵庫県芸術文化協会賞】

ヤマメやマスなどの川魚を抽象化してオブジェにした作品であり、ハンドメイド作品として手が掛かっている。しかし、どのような用途を想定したものなのか不明瞭な点が惜しい。クラフトとプロダクトデザインの中間の作品である。

【奨励賞 （公財）伊藤文化財団賞】

シルバーと三原色を用いた明快な構成が魅力的で、のびしろが感じられる。今回数少ないデザインらしいデザインである。ただ、各モチーフの形状がややステレオタイプである。今後はオリジナリティのあるフォルムや、一見してメッセージが伝わる工夫を期待したい。

2022 県展 特席 県展大賞 受賞作品



丹生 あさ 《Coral bleaching》

2022 県展 一席 部門大賞（知事賞） 受賞作品

【彫刻・立体部門】



円山 栞多 《彼、または彼女、あるいは私》

【工芸部門】



丹生 あさ 《Coral bleaching》

【写真部門】



谷 登志朗 《京の赤》

【書部門】



池本 竹風《十竹》

【絵画部門】／【デザイン部門】

該当なし